

I 事業紹介（平成 21、22 年度）

1 学習の支援

(1) 総合的な学習

事業名 キャリア教育(21、22 年度)
実施日時 ①平成 21 年 8 月 26 日 9:00～16:00
②平成 22 年 11 月 17 日 9:00～16:00
実施場所 北栄中学校・地域
参加者・協力者 ①講師 4 名 消防署職員数名 事業所 29 か所
②講師 1 名 事業所 25 か所

①平成 21 年度

○事業内容

1 学年「身近な大人の職業についての講演・講習」

- 講演(1) 北海道工業大学医療工学科教授 秋山敏晴氏
(2) 米穀店 店主 徳永善也氏
(3) 東消防署 消防士(救命救急・AED)
(4) 本校卒業生(講演・音楽演奏) 手島慶子氏

2 学年「職場体験」

体験先 スーパー・書店・美容院・保育園・幼稚園・自動車関係・老人保健施設等

3 学年

講演 「職業適性検査の結果に基づき、自分の特性を知る」

講師 元(独)雇用・能力開発機構北海道センター能力開発総合アドバイザー 橋本康史氏
講演・音楽演奏(1 年生と合同、本校卒業生、パーカッション奏者) 手島慶子氏

○活動の展開

中学校からキャリア教育の一環として、1 学年は働くことについての講話をしてくれる方 3～4 名、2 学年は職場体験先依頼(29 か所)、3 学年は卒業生や働くことについての講演してくれる方数名の依頼があり、近隣の事業所及び講師の依頼に 6 月より活動した。



○成果や感想等

いろいろな職業の方のお話を聞くことができ、生徒のこれからの進路に参考になった。

卒業生の話は、身近な先輩の体験談だったので共感できた。難しかった点は、担当の先生と打ち合わせがスムーズにいかず手間取ったことである。

職場体験先は、大手のスーパー等は東京の本社とのやり取りであり、また「地域コーディネーター」という役職がわかってもらえず説明するのに時間がかかった。

②平成 22 年度

○事業内容

2 学年 「職場体験」

体験先 スーパー・書店・美容院・保育園・幼稚園・自動車関係・老人保健施設・歯科
医院・自衛隊等

3 学年 講演「夢の途中」 講師 建築家 天谷一男氏

○活動の展開

中学校からキャリア教育の一環として、2 学年は職場体験先依頼(25 か所)、3 学年は働くことについての講演してくれる方を見つけてほしいと依頼があり、近隣の事業所及び講師の依頼に 8 月より活動した。

○成果や感想等

2 学年の職場体験先は、昨年と同じ事業所に依頼の電話をかけたが、不況のせいで生徒を受け入れる余裕がないと数か所断られるところがあり、事業所の確保が難しかった。また、生徒の希望する職種が必ずしも受け入れ先とはならなかった。

講演会の講師の方は、同じ年頃の子どもをもつ建築家の方に自分の子供の頃のお話から現在の仕事につくまでの経緯をお話してもらった。「夢を見つける」ことの大切さやご自身も今も夢を追い続けているという内容に生徒は熱心に聞いていた。

今年度は 11 月の開催であったが、担当の先生との打ち合わせが学校の行事等で忙しかったためスムーズにいかなかったが、職場体験の時の生徒のいきいきとした表情には、苦勞して体験先を探した甲斐があったとうれしく思った。体験先の事業所は、今後も大切につなげていきたい。



(2) 放課後学習

事業名 放課後学習会

実施日時 ①平成 21 年度 1、2 月(テスト前等の 4 日間、放課後)【1 時間～1 時間 30 分】

②平成 22 年度 6 月～23 年 3 月(テスト前 23 日間、放課後)、夏休み中(4 日間)

【1 時間～1 時間 30 分】

実施場所 北栄中学校教室

参加者・協力者 ①平成 21 年度

参加者 北栄中学校生徒(延約 180 名)

協力者 学習ボランティア 2 名、地域コーディネーター 2 名

②平成 22 年度

参加者 北栄中学校生徒(延約 450 名)

協力者 学習ボランティア 5 名

○事業内容

学習に著しく困難を感じ、基礎学力が身につけていない生徒に学力を保障し、自信をもたせるため、放課後等の時間を活用し地域の方の学習ボランティアによる学習支援を行った。

○活動の展開

① 平成 21 年度の取組(放課後学習会の立ち上げ)

北栄中学校には、基礎的学力が定着していないため、授業についていくことが困難な生徒がいる。これらの生徒の多くは、塾や家庭で学習を教えてもらう機会が少なく、教師としてどのようにして個別の学習指導を行うか毎年苦心してきた。2 学年では、1 学年の時から、11 月ごろから数回程度の放課後学習会を開き、個別の学習指導を行ってきた。しかし、個別の指導を行うのは、日々の業務や行事、生徒指導などで継続して行うことが困難なこともあった。

そのような状況を地域コーディネーターに相談し、放課後学習会を継続して実施するために、地域から学習ボランティアを募集することになった。その結果、2 名の方がボランティアに名乗り出てくださいました。早速、地域コーディネーターとともに、学習ボランティアの方と指導方法等について打合せを行った。そして 3 学期から 2 学年の放課後学習会の指導に学習ボランティアの方が加わっていただくことになった。

◇放課後学習会のシステム

- ・会議のない 5 校時の日の放課後に 1 時間半程度実施する。
- ・自学自習を原則とし、自主的に参加して、自分に必要なプリントを選んで学習する。
- ・プリントは必ず先生やボランティアが採点し、その後学習記録表に成果を記録する。

学習ボランティアの役割は添削であるが、学習会の中で、生徒を褒め、自信をもたせることを大切にしてきた。

こうして、3 学期から教師と学習ボランティアそして地域コーディネーターも加わり 4～5 名で 4

回学習会を実施した。

② 平成 22 年度の取組(放課後学習会の通年実施)

平成 22 年度は学校組織の中に、学校支援本部担当者を置いた。また、年間の行事計画に合わせて主に 5 時間授業の日の放課後に学習会を実施した。

学習ボランティアは、年度初めに地域から募集し、教員経験のある方等 5 名の学習ボランティアの方々に協力を得ることができた。

今年度は放課後の学習会だけでなく、2 学期始業1週間前の夏休みを「夏休み学習会」として生徒の参加を募ったところ、各学年から合計 34 名の生徒が参加した。特に部活動が一段落した 3 年生の参加が多くみられた。

2 学期末には全学年、全教科を対象とした学習会を実施した。

○成 果

学習会には、最終的には毎回各学年 10 人前後の生徒が参加するようになった。生徒は学習ボランティアの方にも教師と隔てなくプリントを提出し、添削をしてもらいながらしっかりと学習に取り組んでいた。また、学習ボランティアは生徒一人一人に対して解説をしながら評価をしていくことを大切にされた。そのため、生徒は積極的に質問をするようになり、継続して学習会に参加する生徒もいた。

この学習会は授業中とは違い、生徒同士が学び合い教え合う場面も見られ、和やかな雰囲気の中で学習することができた。参加生徒の多くは、授業中わからないことを質問することができずにいる生徒だが、同じ目的で学習会に参加している仲間の中では積極的に質問をする様子が見られ、苦手な教科にも意欲的に取り組む姿が見られた。そして、生徒には「マンツーマンで解説が聞けて、学習塾よりもわかりやすい」と好評であった。

この放課後学習会を実施することにより、基礎学力が身につけていない生徒や学ぶ意欲が低い生徒たちでも、自ら質問したり、進んで学習に取り組んだりすることができるようになってきた。また、学習ボランティアに協力をさせていただいたことで、教師の負担も軽減され、日常の業務にも余裕をつくることができた。

○今後の展望

平成 24 年度から新学習指導要領が全面実施され、放課後の活動時間が現在よりも少なくなる。このことを踏まえ、学校行事の準備活動と重ならないよう学習会日程を調整し、放課後の活動時間をより有効に活用することが必要となる。そして、地域の力を借りながら、生徒たちの学習への意欲を高め、「学ぶことが楽しい」と実感させたいと考えている。



(3) 生徒会活動

事業名 生徒会活動(地域除雪活動、地域清掃活動)
実施日時 ①平成 21 年度除雪 平成 22 年 20 日 10:00～11:30
②平成 22 年度除雪 平成 23 年 1 月 29 日 10:00～0:00
③平成 22 年度清掃活動 平成 22 年 11 月 16 日 15:00～15:45
実施場所 北栄中学校校区
参加者・協力者 北栄中学校生徒 約 90～170 名

○事業内容

①、② 地域除雪活動

除雪場所:北栄保育園、はらっぱ保育園、大倉湯、南栄町内会、個人宅など
参加生徒:1、2 年生 約 90 名

③ 地域清掃活動

清掃場所:北栄中学校校区(北 35 条～札幌新道付近)
参加生徒:1 年生 55 名、2 年生 73 名、3 年生 39 名、計 167 名

○活動の展開

生徒会活動の一環としてボランティア生徒を募集し、地域の除雪活動や清掃活動を行った。
除雪活動では除雪場所の紹介、清掃活動では清掃に使う火ばさみやごみ袋の提供などの協力をした。

○成果や感想等

活動のねらいである「ボランティア活動を通して地域との触れ合いを深める」はある程度達成できたのではないかと思う。また、活動後のアンケートからは、参加した多くの生徒が充実感が得られたということが分かった。

しかし、平成 21 年度の除雪活動においては、地域の排雪作業が終了した後だったため、除雪する雪が少ないなどの問題があった。清掃活動についても、学校行事や他の生徒会活動の予定を考えると、実施時期を早めるなどの検討が必要かと思われる。



(4) 北小学校の活動

事業名 ①スキーボランティア、②図書館ボランティア、③英語ボランティア

実施日時 ①平成 21 年度 平成 22 年 1 月 31 日

平成 22 年度 平成 23 年 2 月 1、7 日 サップロテイネスキー場

②平成 22 年度 9 月より活動

③平成 22 年度 バネッタ氏 平成 22 年 1～7 月

ロバート氏 平成 22 年 9～12 月

実施場所 ①サップロテイネスキー場、②・③北小学校

参加者・協力者 ①スキーボランティア 2 名、②図書ボランティア 23 名、③英語ボランティア 2 名

○事業内容

- ① スキー遠足の補助・指導。
- ② 月 1 回の朝の読み聞かせ活動、月に数回の図書整備活動と本の修繕活動、12 月に中休みを使つてのクリスマスイベント実施。
- ③ 週に 1 回、その都度 2 時間から 4 時間の授業協力。

○活動の展開

- ① ボランティアを募集したところ応募があり、スキー遠足に一緒に行つていただき、スキーの指導にあたつてもらつた。
- ② 最初に図書ボランティアとして 1 名登録があり、その方が代表となつて学校が保護者に呼びかけ現在 23 名の方々が活動されている。
- ③ 北星大学の留学生として近隣の家庭にホームステイされていたバネッタ氏が、募集のチラシを見て直接、学校にボランティアを申し出て活動を始めた。

○成果や感想等

どの活動も、コーディネーター通信や募集のチラシを見て応募してくださり、「子どもたちのために活動したい！」という意欲のある方々が率先して参加してくださつた。スキーボランティアの方は、インストラクターの経験を生かし子どもたちの指導には慣れていてとても好評であつた。

また、図書館ボランティアも保護者の方々の活動として広がっている。留学生のボランティアの方々は、休み時間も子どもたちと一緒に遊ぶなど大変協力的であつた。それぞれの活動がボランティアと共に学校の活動として根づき、今後も大切に継続していきたい活動である。



2 学校行事支援

(1) ジョイントコンサート

事業名	ジョイントコンサート
実施日時	平成 21 年度 平成 21 年 11 月 1 日 13:00～16:00 平成 22 年度 平成 22 年 11 月 3 日 13:30～16:00
実施場所	北栄中学校体育館
参加者・協力者	平成 21 年度 北斗高校・北園小学校・北栄中学校 平成 22 年度 北斗高校・北海高校・北園小学校・北栄中学校

○事業内容

今年度で 5 回目を迎える「ジョイントコンサート」は、当初は北園小学校のウインドアンサンブルと北栄中学校のブラスバンド部との交流、保護者・地域の方々に子供たちの姿を見ていただくことを目的として、ブラスバンド部顧問の声かけによってスタートした事業である。その後、高校の吹奏楽部にも参加を依頼し、小・中・高校生による音楽を通じた交流事業にも発展した。プログラム最後の参加校出演者約 300 名による合奏は圧巻であった。

○活動の展開

年度当初に、ブラスバンド部の顧問から各学校の顧問に参加が可能かどうかを打診し、日時を決定する。2 学期に入ってから各学校には演奏曲目を決定してもらい、当日までにステージ配置図やプログラム作りなど細かな打ち合わせをし、地域コーディネーターの方々に広報活動を手伝ってもらいながら、当日までの準備を行っていった。

○成果や感想等

地域コーディネーターの方々の広報活動のおかげで、たくさんの観客がきてくださることが、出演する生徒たちにとって一番の励みとなっている。また、小・中学生にとって、高校生の演奏を聴くことによる刺激は計り知れない。また、中学生にとっても、小学生の一生懸命な演奏を聴くことによって、相当な励みとなっている。また、交通費以外無償で演奏に駆けつけてくださる高校側のご厚意がなかったら、これだけ大きな行事には発展しなかったと思われる。



3 環境整備

(1) 花壇整備

事業名 花壇整備
実施日時 平成 21 年 5 月 25 日～11 月頃
平成 22 年 5 月 25 日～11 月頃
実施場所 北栄中学校
参加者・協力者 ボランティア 1 名、地域コーディネーター 3 名、用務員 2 名

○事業内容

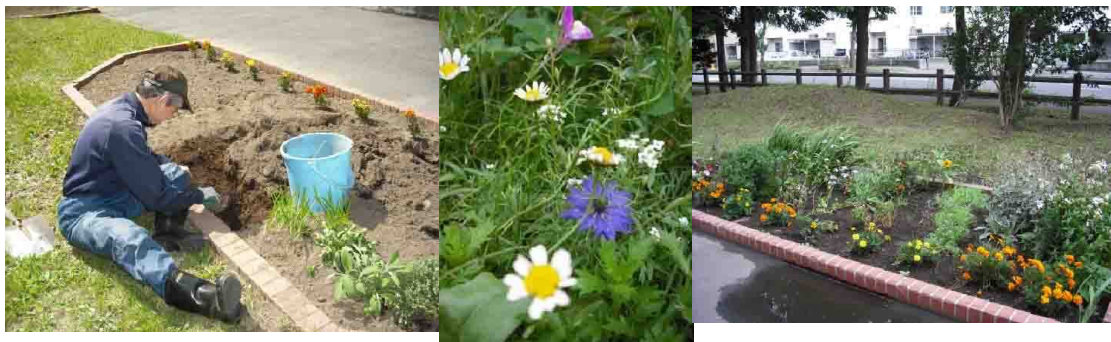
校内の花壇整備をボランティアの方を中心に活動を行った。

○活動の展開

事業の開始が遅く、ボランティアを募集する時期が花の苗を植える時期と重なったため、花壇の土の整備を用務員が全て耕してくれた。その後、地域コーディネーターが花の苗と種を購入し、ボランティアの方も決まり活動を始めた。

○成果と課題

雑草の生える速度が速く、草むしりが大変と思っていたが、ボランティアの方がこまめに手入れをし、秋の終わりまで綺麗な花が咲いていた。また、花壇にはボランティアの方が育てた宿根草を植えていただいたので、2 年目はそのまま綺麗に咲いていた。学校の生徒玄関には、フラワーポットに入れた花を飾り、生徒たちの目を和ませる環境になった。2 年目は、瓢箪の苗をいただいたので植えてみたが、生育が悪く育たなかった。夏休みは、水やりと雑草取りをボランティアの方と協力し活動した。近隣で花を育てている方にもっと協力していただきたかったが、学校の敷地に入るのが難しいようであった。今後は、近隣の方に気軽に入って花壇の手入れができるように準備して、この活動を続けていきたい。



4 安全安心確保

(1) 夜間パトロール

事業名	夜間パトロール
実施日時	平成 21 年度 平成 21 年 7～9、12、1 月 19:00～、20:00～、22:00～ 平成 22 年度 平成 22 年 7～9、1 月 19:00～、20:00～、22:00～
実施場所	公園・施設・お祭り会場・登下校の通学路など
参加者・協力者	平成 21 年度 保護者・OB・地域・教職員 平成 22 年度 保護者・OB・地域・教職員

○事業内容

子ども達の安全確保と啓発活動及び不審者への抑制効果を目的としたパトロールをした。

○活動の展開

北栄中学校では、平成 17 年度より夜間パトロールを行っていたが、これは当時の男性PTA会長が男性保護者にも幅広く参加してもらえたらと立ち上げたものである。

平成 21 年度からは、学校支援地域本部事業と協力し パトロール用ベストやホイッスル&フラッシュライトも用意した。

隊長・副隊長・班長を中心にパトロールのコースを下見し、パトロールの必要な場所を決め、より活発に活動できた。

○成果や感想等

夜間のパトロールのため、日中仕事などでPTA活動に参加できない保護者の方も協力し、また「コーディネーター通信」などの募集により、OB・地域の方も参加してくれた。

北海道の冬のパトロールは、厳しい寒さもあったが、参加者の感想の中には、「私たち(父兄)はちゃんと見てますよ！という無言のメッセージが伝わっていると思います」といった感想があり、地域の方からも「ベスト」が目立って防犯の抑制になっていいとの評価もあった。本事業が終わっても、大切に続けていきたい活動だと思う。



(2) 除雪ボランティア

事業名 除雪活動
実施日時 平成 21 年 12 月 10 日～平成 22 年 3 月上旬
平成 22 年 12 月 25 日～平成 23 年 3 月上旬
実施場所 北栄中学校区
参加者・協力者 除雪ボランティア 31 名

○事業内容

除雪に使うスコップを除雪ボランティアに登録していただいた方に配布し、子どもたちの登下校を見守りながら通学路の除雪をしてもらう。

○活動の展開

事業の開始にあたって、「誰でもできる！除雪と健康・体カアップ大作戦！」というテーマで、北大名譽教授 須田 力先生をお招きして雪国ならではの健康づくりについて講演していただき、その後に除雪スコップを配布し、ボランティア登録をしていただいた。当日は、50 名近い地域の方々が集まり、須田先生の体を使っての講演は大変好評であった。その後、各家庭・地域の除雪ボランティアが、子どもたちの登下校の時間帯に玄関前や通学路の除雪活動を行い安全安心の見守り活動となった。

○成果や感想等

除雪を通して子どもたちを見守るという活動は、地域の方々も参加しやすく個人のお宅以外にコンビニや理容室なども協力していただき、黄色いテープが除雪ボランティアの目印として、朝など子どもたちから挨拶されるなど、子どもと地域を結ぶ活動にもなった。

ネームプレートは学校の用務員がつけ、黄色のテープは地域コーディネーターが心を込めて付けた。雪国ならではのこの活動は、運動不足の改善にもなり、もっと多くの方に参加していただきたいと思った。また、この活動から、今度は生徒たちが地域に除雪に行くという活動につながり、地域支援本部事業が終わっても続けていきたい活動の一つとなった。

